

(6) 那覇中央地域 まちづくり方針



位置と地勢

本地域は、本市の中央部に位置しており、地域の西側にはかつて浮島であった那覇との間を含めた平坦な地域が広がっています。中央部は高台となっており、一部に緑地も残り、安里川や久茂地川、国場川などの水系が地域内を流れています。また、外周は主要な幹線道路で囲われており、中央を本市の戦後復興のシンボルである国際通りが通っています。

成り立ち

15 世紀に琉球王国が周辺諸国との交易を進めたことから、海の玄関口として、本地域や那覇西地域の周辺に、港町がつくられました。当時は、現在の久茂地川より西側は海でしたが、1451 年に長虹堤が築造され、王都首里と港町那覇を結ぶ重要な役割を担いました。その後、王国の発展とともに、徐々に埋め立てが進められることとなります。

19 世紀に入り、役場や公設市場が現在の西や東町に整備され、商業・業務地として栄えることとなり、王都首里と港町那覇の中心地に挟まれた本地域は、どちらかというと郊外としての位置付けでした。

沖縄戦により、那覇港を中心に 1.6km 圏内が米軍に接収されるなか、1945（昭和 20）年、先遣隊が壺屋への入植を許可されると、牧志、開南などで人口が増加していきました。1946（昭和 21）年、市役所（当時は区役所）が壺屋に設置され、その後、牧志、開南、天妃と移り、1965（昭和 40）年、現在の泉崎に移転します。

戦前に整備された新県道（牧志街道）周辺は戦後いち早く復興を遂げ、アーニーパイル国際劇場があったことから、国際通りと呼ばれるようになります。復興のシンボルとして奇跡の 1 マイルとも呼ばれ、本市・沖縄県の商業・観光の拠点となっていきます。久茂地川北西一帯などでは、戦災復興土地区画整理事業により基盤整備がなされてきましたが、国際通りの背後地である樋川、松尾、牧志などでは基盤整備がなされないまま、商業施設と住居が混在した密集市街地が形成されています。

久茂地一丁目地区、牧志・安里地区の市街地再開発事業やてんぶす那覇の整備が行われ、農連市場地区防災街区整備事業ではのうれんプラザの整備、モノレール旭橋駅周辺地区第一種市街地再開発事業では、バスターミナルの整備や沖縄県立図書館の移転などが行われました。また、第一牧志公設市場の建替えや那覇文化芸術劇場なは一との建設も進められており、広域的な機能を担う本市の中核として、新たな魅力づくりが進められています。

地域の特性

① 県都那覇の商業・業務拠点であり、就業の場となっています

本地域は、久茂地・泉崎一帯を中心とした業務エリアに、県内外の多くの企業が立地しているほか、県庁や市役所などが立地する本市・沖縄県の経済活動の中心です。また、国際通り、沖映通り、マチグワール商店街などを中心に、商業エリアが広がっており、来訪者も従業者も非常に多い地域です。

近年は増加が続く観光客数を背景に、国際通りや国道 58 号沿道をはじめ、地域内各所に様々な形態の宿泊施設が立地しており、観光地ではない日常生活空間で観光客の姿を見かけることも多くなっています。



▲ 官公庁や業務施設が集積する久茂地

② 古き良きマチグワールが残り、商店街の活動が盛んです

マチグワールや国際通りは、戦後の闇市から始まり、映画館や百貨店が建ち並び、文化の中心地・流行の発信地として発展を遂げてきました。現在でも商店街としてにぎわっていますが、にぎわいの多くを観光需要に支えられており、地元客のマチグワール離れが進んでいます。

近年は、パレットくもじ前広場やサンライズ通りなどの複数の公共空間で、手作りの商品や農産物などを、つくり手と買い手の顔の見える形で販売するマルシェなどが人気を集めています。



▲ イベントでにぎわうさいおんスクエア

③ 公共交通が充実しています

本地域は、モノレール駅が 6 駅あり、バスターミナルを中心に 1 日 50 本以上走るバス路線が地域を囲み、公共交通の利便性が高い地域です。一方で、慢性的な交通混雑が続いており、観光バスやレンタカーの増大といった新たな課題も顕在化しています。このような課題も踏まえ、本市の目指すクルマに頼り過ぎない「誰もが移動しやすいまち」の実現にむけ、多様な移動手段の利用環境の向上に取り組んでいます。

ワークショップなどからの市民のみなさんの声



牧志の公設市場って小さなお店が寄りあつまっていてパッチワークみたいで面白いよね。



今では観光客の人がいっぱいだけど、地元の人にとっての台所としての公設市場を取り戻したいなあ。



スージグラーの良さは残しつつ、電線を地下に埋めたり看板のルールを作ったりして魅力を高めていけたらいいね。



高層化によって近代的にする地域と壺屋みたいに歴史的なところは保全する地域というようにメリハリが必要じゃないかな。

この地域は、公設市場や壺屋、国際通り、オフィス街に住宅地とさまざまな要素がギュッと詰まっていますよね。それぞれの機能が十分に発揮されるまちづくりを進めていきたいと考えています。



バスターミナルもあるしモノレールも通っていて、公共交通は利用しやすいわ。



お年寄りや障がいのある方でも歩いて活動できる地域になるといいわよね。



中心部を通る車を制限して、コミュニティバスやレンタサイクルを普及するのはどう？

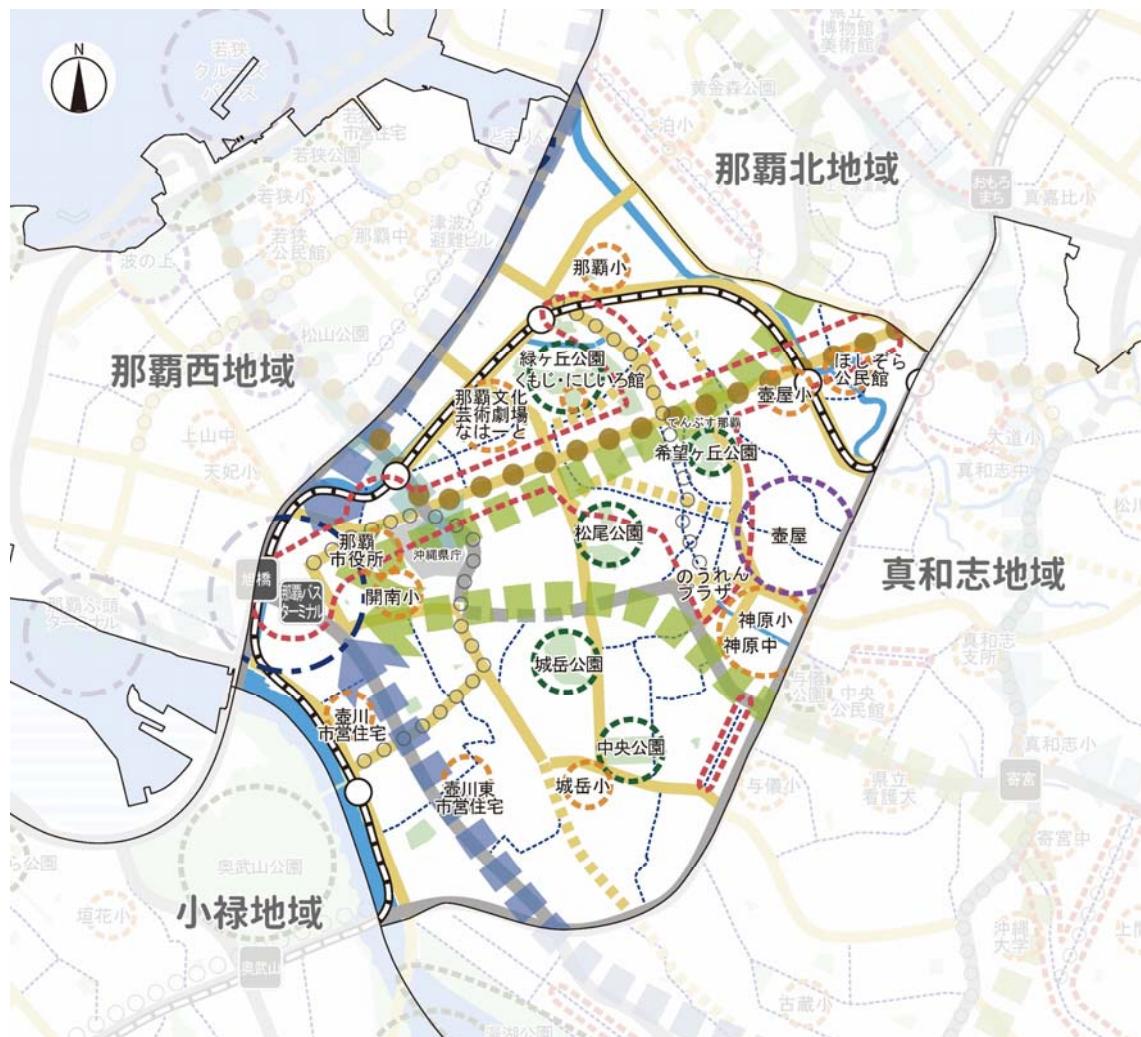


日中は暑くて歩くのがたいへん。公園と公園をつなぐように街路樹を植えて緑が繋がっていると歩きやすくなるんじゃないかねえ。

この地域は、週末にトランジットモールもありますね。快適に歩ける歩行空間を整備したり、“歩いて暮らせるまち”を目指してまちづくりをしていきたいと思います。



多様な都市機能が集積する複合的な土地利用を図り、中心拠点としての機能強化を進めるとともに、様々な移動手段の利用環境の向上・充実や快適な歩行空間の創出を図ることで、歩きたくなるまちづくりを推進します。また、利便性の高い居心地の良いエリアづくりとあわせた住宅の中高層化の誘導により、快適な都市型住宅の形成とまちなか居住を進めます。国際通りからマチグワーへと広がる沖縄独特の雰囲気を活かした回遊性のある観光・商業地の形成を進め、「出合い」「ふれあい」「にぎわい」のあるまちの形成を進めます。



交流スポット



都市公園・緑地 海・河川

※凡例は各地域共通

地域の土地利用の方針

- 交通の利便性を活かしたまちなか居住の推進
- 県都那覇における商業・業務拠点の形成
- 魅力的なオープンスペースの創出による土地の高度利用の推進

低中層住宅地区

楚辺2丁目は、低層の戸建て住宅と調和した低中層の共同住宅が共存する良好な住宅地の形成を進めます。また、壺屋1丁目は、石積みや道路形態などの昔ながらの良好な集落環境を保全しながら、緑豊かな低密度な住宅地とやちむんの里として焼物工房などが共存する土地利用を推進します。

中高層住宅地区

魅力的なオープンスペースの創出により地域の環境にあった高度利用を進め、中高層の共同住宅や商業機能、業務機能が共存する土地利用を図ります。

地域型生活サービス地区

与儀市場通り（樋川南線）では、日常の生活を支える店舗などが立地する土地利用を図ります。

商業サービス地区

国際通りや沖映通りなどは、沖縄県の商業の中心地として、商業機能や観光機能など多様な機能が集積する土地利用を図ります。また、居住機能との複合利用により、まちなか居住を進めます。

業務地区

国道58号沿道や久茂地、壺川などは、広域的な業務機能が集積する地区として、基盤整備状況にあった土地の高度利用を進め業務機能の充実を図ります。また、居住機能との複合利用により、まちなか居住を進めます。

幹線沿道地区

国道330号や崇元寺通り（県道29号線）などの沿道は、低層部の住宅利用が抑制された沿道型の商業施設や業務施設、中高層の共同住宅などが立地する土地利用を進めます。

■中心拠点としての都市機能の誘導

県都として、商業機能、業務機能、文化芸術機能、観光・交流機能、行政機能、交通結節機能などの多様な機能の集積・充実を図ります。また、ヒト・モノ・コトが集まり、にぎわいが生まれ、新たな価値の創造につながる、建物用途の複合化や土地の共同利用などの土地の高度利用を進め、都市の環境を向上させるオープンスペースの創出を図ります。

地域の土地利用方針図



土地利用

 低層住宅地区	 地域型生活サービス地区	 都市型リゾート地区	 集落環境保全
 低中層住宅地区	 近隣型商業サービス地区	 流通・産業地区	 都市公園等
 中高層住宅地区	 商業サービス地区	 地域内幹線沿道地区	 学校等(白枠)
 住宅団地地区	 業務地区	 幹線沿道地区	 モノレール

※凡例は各地域共通

地域の交通体系の方針

- トランジットモールの拡充など、交通の面からまちの活性化を支えるための施策展開
- 住宅地内における安全安心で快適な交通環境の創出
- 地元客や観光客が快適に歩ける歩行空間の整備
- まちづくりと一体となった LRT などの基幹的公共交通システムの導入
- 多様な移動手段の利用環境の向上・充実
- 都心部へのクルマの乗り入れ抑制
- 鉄軌道を含む新たな公共交通システム導入との連携
- 貸し切りバスの乗降場所や待機場所の適正化の推進

■誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの体系方針

本地域は、新しく開業した那覇バスターミナルを中心に、一日 100 本以上運行しているバスの路線網が放射状に形成され、モノレールの駅が 6 つ位置するなど、公共交通が充実した地域です。充実した公共交通を生かし、できる限りクルマを使わない生活が送れるよう、様々な取り組みを実施していきます。

新都心方面、寄宮方面へ接続する LRT などの基幹的公共交通システムについて整備推進を図るほか、国道 58 号、507 号において検討されている鉄軌道を含む新たな公共交通システムについては、関係機関との連携のもと、導入に向けた取り組みを促進し、クルマから公共交通等への転換を促進します。

また、国際通りトランジットモールの拡充や、歩行者優先ゾーンの設定などを実施し、中心部への通過交通を抑制することにより、歩行者の安全性、快適性、利便性を重視した交通環境の形成を図ります。

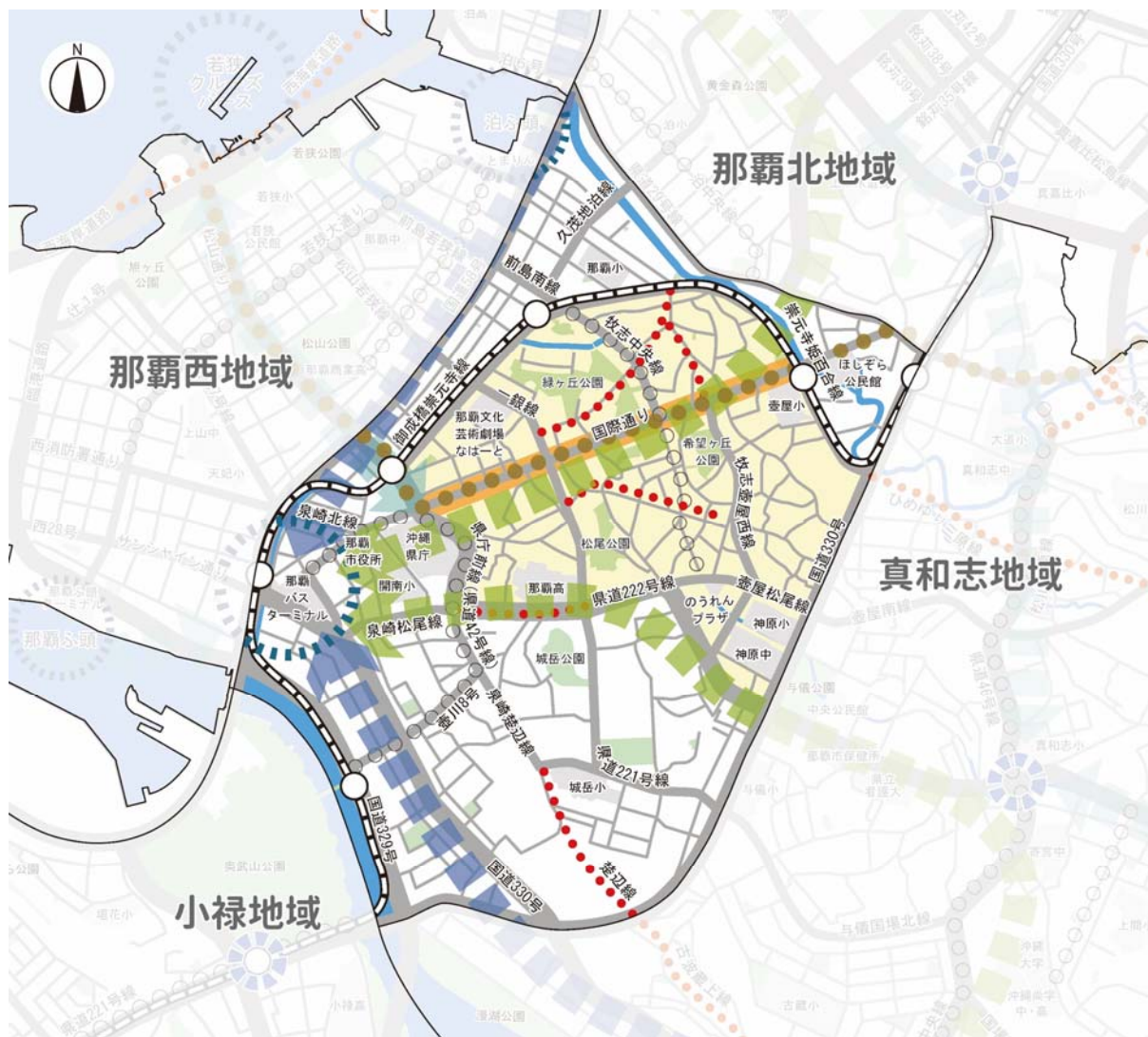
■路線ごとの道路体系方針①

	路線名および路線位置	体 系 方 針
広域的な幹線道路	・ 国道 58 号 ・ 国道 330 号 ・ 国道 329 号 ・ 県道 29 号線（那覇・北中城線）	都市交通の円滑化を進め、都心部への通過交通を抑制する道路として、沿道環境の整備と併せて、良好な歩行空間の形成を促進します。
	・ 牧志 23 号 ・ 県道 42 号線 ・ 県道 222 号線（真地久茂地線） ・ 泉崎牧志線 ・ 久茂地前島線	中心市街地の歩行者優先ゾーンの外周を構成する道路として、周辺環境に配慮した道路整備に併せて、良好な歩行空間の形成を促進します。
地域の幹線道路	・ 国際通り（県道 39 号線）	商業・観光地の重要な役割を担う道路として商業再生計画に併せてトランジットモールの拡充や無電柱化、ポケットパークなどの多様なオープンスペースの創出や、違法駐車などに伴う交通渋滞の緩和などを図り、人中心の魅力ある道づくりを推進します。
	・ 楚辺線（泉崎楚辺線から国道 330 号へ延伸する道路） ・ 一銀線（久茂地松尾線） ・ 牧志壺屋西線	地域内の幹線道路として、交通の円滑化を進めるとともに、沿道環境の整備に併せて良好な歩行空間の形成を図ります。

■路線ごとの道路体系方針②

	路線名および路線位置	体 系 方 針
主要な生活サービス道路	・ 牧志壺屋線 ・ 安里牧志東線 ・ 安里 11 号 ・ 安里 33 号 など	安里、牧志、壺屋の住宅地の主要な生活サービス道路となっており歩行者の安全性、快適性に配慮した道路整備を図ります。
	・ 我部川線（樋川牧志線、牧志 24 号） ・ 開南中央通り（松尾東線） ・ サンライズ通り（松尾牧志線） ・ 平和通り（壺屋牧志線） ・ 壺屋 3 号	歩行者優先道路として位置づけ、沿道に連なった商店街など地域の特色を活かした魅力ある道路整備を図ります。
	・ 泉崎楚辺西線 ・ 久茂地 9 号 ・ 久茂地前島線	泉崎、久茂地一帯の主要な生活道路となっており、歩行者優先道路として位置づけ、地域の特色を活かした魅力ある道路整備を図ります。
	・ 樋川中央線 ・ 楚辺 25 号 ・ 樋川東線 ・ 樋川南線 ・ 神里原通り（壺屋松尾線）	中央公園へのアクセスおよび樋川一帯の住宅地の生活基盤となる道路となっており、通過交通を抑制し、歩行者の安全性、快適性に配慮した道路整備を図ります。
	・ 楚辺南線 ・ 楚辺北線	楚辺の住宅地の生活基盤となる道路であり、城岳小学校周辺の道路となっていることから、通過交通を抑制し、歩行者の安全性、利便性を重視した道路整備を図ります。
	・ 旭町 8 号 ・ 壺川 19 号 など	旭町、壺川一帯の住宅地の生活基盤となる道路となっており、通過交通を抑制し、歩行者の安全性、快適性に配慮した道路整備を図ります。
	・ 国際通りに並行する牧志壺屋西線から県道 222 号線へ延伸する道路	国際通りのトランジットモール化に併せて、東西へ通過する交通を処理し、地域の活動を支える主要な道路として周辺環境に配慮した道路整備を図ります。

地域の交通体系方針図



公共交通

モノレール

将来公共交通ネットワーク

公共交通軸

鉄軌道を含む
新たな公共交通システム

LRTなどの
基幹的公共交通システム

道路

広域的な幹線道路

地域の幹線道路

主要な生活サービス道路

計画・構想道路

トランジットモール

歩行者優先ゾーン

歩行者優先道路

シンボルロード

地域の顔となる道路

交通結節点

交通拠点

パーク&ライド

ライド&ライド

※凡例は各地域共通



NAHAのまちスナップ

～さんぽみち編～



1



2



3



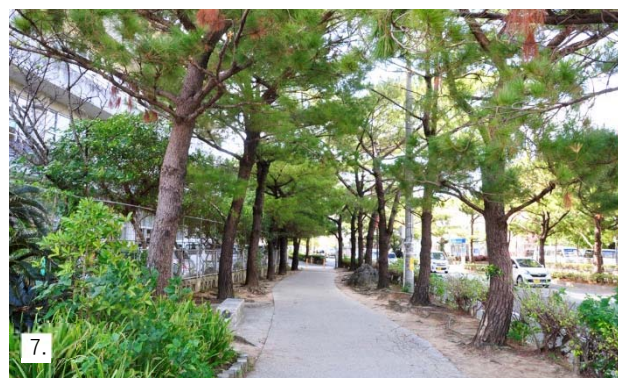
4



5



6



7



8

1.天久クレセント

2.首里金城町石畳道

3.崎山2号

4.やちむん通り

5.崎山町の馬場通り

6.大名町の馬場通り

7.楚辺の馬場通り

8.小禄金城3号

安全安心な地域形成の方針

- 壺屋の集落形態の保全と歴史・文化が生きたやちむんの里づくり
- 密集市街地の改善による都市型住宅地の形成
- マチグワールの魅力を残した市場の再生

集落形態保全地区

壺屋1丁目は、登り窯をはじめ伝統的な家屋や御嶽、石積みなど、歴史的な要素を積極的に保全・再生し、良好な集落形態の保全・創出により、生きたやちむんの里づくりを進めます。

基盤整備済地区

地区計画制度を活用している久茂地・牧志地区、久茂地地区、壺川地区は、地区計画の目標や整備方針にあわせた適正な市街地の形成を図ります。その他の基盤整備済地区は、地区計画や建築協定、緑化協定などにより、緑化の推進や街並み景観の形成などの良好な市街地の形成を図ります。また、本地域は商業機能や業務機能の中心であるため、建替えにあわせて総合設計制度などを活用し、良好なオープンスペースの創出による快適な市街地の形成を図ります。

基盤改善地区(機能向上型)

牧志、松尾、楚辺、安里などは、狭隘道路の解消やネットワークを構成する主要な生活サービス道路の改良、一定規模の老朽木造密集地の共同建替えや、土地の共同利用などによるゆるやかな基盤の改善を図ります。国際通りの沿道は、ゆとりある歩行空間の創出を図り、建築物の建替え時に背後地や隣接地の共同利用による再開発などの基盤整備とあわせ、良好なオープンスペースの創出による快適な市街地環境の形成と土地の高度利用を図ります。

ガープ川周辺のマチグワーエリアは、建築物の共同建替えの誘導や民間事業者の参画による小規模な面整備、公園や道路整備と一体となった基盤改善や再開発など、様々な手法により、沖縄独特の商店街として、マチグワールの魅力を残した良好な市街地環境の改善を図ります。また、老朽化が進行しているアーケードは、再整備や撤去、オーニングの設置などの改善に向けた支援を図ります。

基盤改善地区(面的改良型)

密集市街地を形成し、無接道宅地が一定程度連担した個別改善が困難な地区や消防活動困難区域で防災上の課題がある地区では、民間事業者の参画などによる建築物の共同建替えなどを推進し、地域住民との協働による市街地の改善を図ります。

防災まちづくり

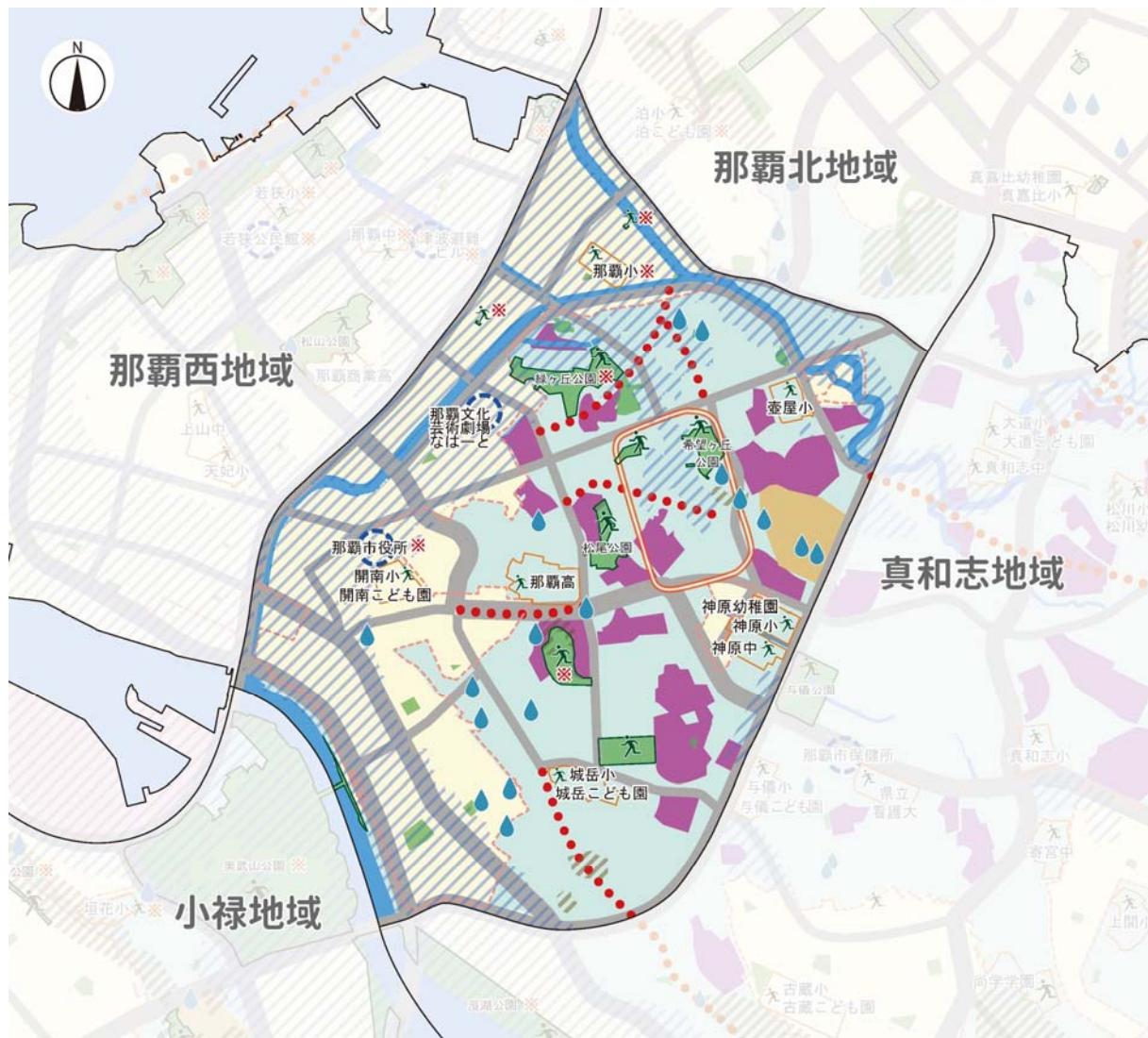
本地域には、大規模災害時に本市の災害対策本部が設置される市役所本庁舎があります。また、商業施設や業務施設などの多様な都市機能が集積し、商業・業務の中心地として、多数の人が訪れる地域です。災害発生時に一時的な避難者受け入れのため、事業所のロビー、会議室、ホールを開放するなど、事業者の協力による防災機能の向上や、災害時に観光客がスムーズに避難できるよう、地域住民や事業者の協力により、安全に避難できる仕組みづくりを進めます。

集中豪雨による浸水リスクのある安里川や我部川の周辺では、主要河川の治水機能の向上のほか、道路や敷地内の浸透機能の強化、緑化などを進め、総合的な治水対策を図ります。高潮・津波の浸水リスクのある久茂地、旭町など、土砂災害リスクのある楚辺などでは、災害リスクおよび被害軽減に向けた意識啓発を進めます。

避難場所・避難所・樋川・井泉

公園などの避難場所や小中学校などの避難所は、多様な使われ方が可能なオープンスペースの確保、耐震化やバリアフリー化を図ります。また、地域の湧水は、災害時に上水道が使えなくなった場合の飲料以外の生活に必要な水を確保するため、状況把握や保全などの取り組みを進めます。

安全安心な地域形成方針図



市街地形成

- 集落形態保全地区
- 基盤整備済地区
- 基盤改善地区 (機能向上型)
- 基盤改善地区 (面的改良型)
- 基盤改善地区 (基盤再生型)
- マチグワーエリア

防災

- 浸水リスクのあるエリア
- 土砂災害リスクのあるエリア
- 地域の避難場所 ※
- 地域の避難所 ※
- 台風・大雨洪水時の避難施設
- 地域の樋川・井泉

その他

- 公園・緑地
- 海・河川
- 幹線道路
- 計画・構想道路
- 市街地開発事業区域

※凡例は各地域共通

※ 避難場所・避難所について…浸水リスクのあるエリアでは、津波・高潮・洪水時を除く。土砂災害リスクのあるエリアでは、土砂災害時を除く。

暮らしと交流の方針

- 公園のアプローチの向上と柔軟な利用によるにぎわいの創出
- 水辺空間の親水化とプロムナード化
- 壺屋の歴史的・伝統的な景観整備の推進
- 歴史・文化遺産などの保全とネットワーク化
- 国際通りとマチグワーなどの商業地のにぎわい景観の形成

公園・広場・緑・水辺

緑ヶ丘公園などは、都心の中の貴重な緑・レクリエーションなどの拠点として、既存の樹木や地形などの自然的な特徴を活かしたうるおいの場の創出を進め、道路からのアプローチの改善によりまちと公園の一体性を高めます。また、まちなかのにぎわいにつながる柔軟な管理・運営を図ります。公園のリニューアル時には、地域の憩いの拠点となるよう開放的な緑空間を創出し、機能の更新を図ります。

久茂地川、安里川、潮渡川、国場川は水辺の軸として、河川の治水整備や水質浄化とあわせて自然化・親水化や緑化を進め、生物にやさしく、訪れる人が水辺を身近に感じることでできる親水プロムナードの創出を促進します。また、豊かな湧き水によって育まれた汪樋川（城岳樋川）などの地域の水辺空間は、都市における貴重な自然環境として水源を維持するため、水辺周辺の緑地の保全を促進し、市街地の緑化や保水機能の向上などを図ります。

幹線道路や主要な生活サービス道路、モノレールの桁下などは積極的に緑化を進め、水辺と緑をつなぐ都市の中の貴重な緑の軸として、生物の移動空間のネットワーク化やうるおいのある歩行空間の創出を図ります。また、公園や街路樹による緑の確保を進めると同時に、建築物の用途の複合化や土地の共同利用などにあわせて、地上階のゆとりある空間と南国を感じる花や緑の確保を図ります。

景観・眺望

壺屋一丁目は、本市の復興が始まった地域であり、伝統工芸であるやちむんの里として、登り窯をはじめとした焼き物工房などが織りなす街並みの形成や、魅力的なスージグワーの保全、赤瓦屋根などによる歴史的・伝統的な景観形成を図ります。

国際通りなどのシンボルロードや沖映通りなどの地域の顔となる道路は、街路樹による連続した緑陰の創出や特色ある整備を図り、屋外広告物や公共サインのデザイン誘導などによる景観の形成を図ります。

モノレール駅や導入が検討されている新しい公共交通など、車両や駅舎などの各施設を含め、良好なデザインとなるような景観形成を図ります。

久茂地川、安里川、潮渡川、国場川などの河川は、中心市街地における貴重な水辺空間として、親水性の確保やその場所毎に相応しい景観の軸としての整備を促進することで、水辺に意識を向けた景観形成を誘導します。

城岳公園や緑ヶ丘公園、希望ヶ丘公園では、市街地の中の貴重な眺望点の確保を図ります。

歴史・文化遺産・歴史の散策路

新垣家住宅などの指定文化財や、井泉や御嶽などの地域に残る歴史・文化遺産は、まちづくりの要素として保全・活用を進め、七つ墓や十貫瀬の伝説が残る十貫瀬公園は、歴史を活かした整備を進めます。また、歴史の散策路と一体となった歴史・文化とふれあう場の創出により、地域に暮らす人が身近なまちの良さや歴史を再発見できる仕掛けづくりを図ります。

琉球国王であった尚家の歴史遺産を数多く残す那覇市歴史博物館や、沖縄の焼物文化を支えてきた壺屋焼の歴史を伝える壺屋焼物博物館では、歴史資料・美術工芸品を身近に感じることのできる場として活用を図ります。

また、景観資源として指定されているハーバービューのガジュマルや神原小学校のビルマネムの木など、地域内に残る古木・大木などは、市街地にうるおいを与えると同時に、地域の歴史を継承する貴重な資源として積極的に保全を図ります。

交流スポット

国際通りや沖縄通りなどは、広域的な商業機能を有する交流スポットとして、那覇の顔としてのにぎわいと風格を備えた中心商業空間を演出する街並みの創出を図ります。また、壺屋や桜坂などを含めた中心市街地の回遊性の向上を図るため、緑陰の確保や腰掛けるスペースの創出、段差の解消などを図り、子どもから高齢者まで多くの来訪者に快適な歩行環境を提供することで、中心市街地の再生や活性化につなげるまちづくりを推進します。

企業や人材が集積する地域の強みを生かして、講演会や商談、各種イベントの開催がしやすいエリアづくりに取り組み、新たな交流機会を創出するため、土地の高度利用により生み出される商業・業務床へのホールや大会議室の設置や、グランドレベルのにぎわいにつながる魅力的なオープンスペースの創出を図ります。

那覇文化芸術劇場なは一とでは、催し物がないときにも日常的に人々が訪れ気軽に交流できる空間づくりに努めるほか、周辺景観と調和した照明デザインやナイトタイムエコノミーに資するコンテンツの開発を進め、都市観光の魅力の向上を図ります。

与儀市場通りは、徒歩圏の生活サービス機能を有する交流スポットとして、空き店舗の様々な利用により、身近な買い物や地域のサードプレイスとしての機能の創出を図ります。

既存の公民館・図書館の活用により、まちづくりなどのコミュニティ活動を促進するとともに、くもじ・にじいろ館や小中学校などの公共施設は、コミュニティの拠点として積極的に開放を進めます。また、施設のリニューアルなどの際には、交流スポットとして利用しやすい機能配置や施設整備を図ります。

暮らしと交流方針図



緑・水辺	歴史・景観	交流スポット
公園・緑地 自然緑地 緑の軸 水辺の軸 (河川・海) 公園空白地域	歴史・文化遺産 (馬場道跡などの場合) 集落景観 都市景観形成地域 景観資源 シンボルロード 地域の顔となる道路 歴史の散策路 眺望	歴史文化 スポット 自然・ レクリエーション スポット コミュニティ スポット 商業交流 スポット ・広域的な商業機能 ・駅周辺の商業機能 ・徒歩圏の生活サービス機能 交通交流 スポット

※凡例は各地域共通



NAHAのまちスナップ

～歴史・文化遺産 史跡・旧跡・建造物編～



1.泊外人墓地 2.崇元寺 3.伊江御殿別邸 4.首里金城の大アカギ 5.識名園 6.新垣家住宅 7.波上 8.ガーナ森